

トピックス **ぶらす**

3/6

**災害時の対応を学び地域防災力を向上**

地震などの大規模な災害時に必要とされる地域の防災力を高めようと、地域防災リーダー養成研修会が3月6日、消防防災センターで開催されました。研修には、消防団や婦人防火クラブなど関係者約60人が参加。日本防災士会県支部などから講師を招き、有事の際に地域で活動するための基礎知識や防災手法などについて学びました。



▲被災の特徴を分析した地震災害の詳しい説明

3/13

**決意を胸に新たな門出**

自衛隊入隊者激励会が3月13日、迫公民館で開催され、入隊者とその保護者、来賓など約60人が参加しました。入隊者を代表して後藤拓哉さん（東和）が、「今は入隊に対する希望と決意で胸がいっぱいです。今後悩み苦しむこともあると思いますが、この気持ちを忘れずに一生懸命頑張っていきたいと思います」と抱負を語りました。



▲これからの入隊生活に対して抱負を語る後藤さん

3/18

**市民の意見をよりよい市政運営に**

市民の声を市政に取り入れ、市民との協働によるまちづくりを目指し設置された市政モニター。その第2回会議が3月18日、迫公民館で開催され委員10人が出席しました。会議では、モニターが市政に対し日ごろ感じていることについて意見交換を行い、道路の危険個所の改良や市民へ情報の周知の仕方などについて多くの意見や要望が出されました。



▲活発に意見が交わされた市政モニター会議

3/19

**金メダリストまで道のりを語る**

市スポーツ講演会が3月19日、中田総合体育館で行われ、市民やスポーツ関係者など約2,300人が参加しました。講師はソフトボール北京オリンピック日本代表の上野由岐子さん。「金メダルを取るまでの道のり」をテーマに、これまでの苦悩や体験などについての講演や投球の実技も行われ、目の前で見る速球に、会場からは歓声が上がっていました。



▲オリンピックなどでの思い出を語る上野選手

**親子で楽しく歌って作って！**

南方で「ノーム芳賀さんとあそぼ！」

乳幼児の親子を対象として、仙台市在住のパフォーマー「ノーム芳賀さん」を講師に招き、手遊びや紙芝居などを親子と一緒に楽しむ「ノーム芳賀さんとあそぼ！」が3月5日、南方子育てサポートセンターで開催されました。会場には39組の親子が集まり、ノーム芳賀さんの楽しいパフォーマンスやお話しを通して、親子のふれあいの大切さを学んでいたようでした。ノーム芳賀さんは、児童一時保護所に勤務した経歴もあり、現在は介護士を目指す学生への指導なども行っています。



▲ノーム芳賀さんのユニークな紙芝居を子どもと一緒に楽しみました

**田舎の良さを再発見！**

米山で「とっておきの学習会」

地域の良さを再発見しようと3月12日、中津山公民館で「とっておきの学習会」が開催されました。学習会では、講師に岩手県藤沢町「深萱の昔とうふ工房」代表の皆川洋一さんを招き、「いなかほ宝の山」というテーマで講演が行われました。当日は各公民館の各講座の受講者や地域の人など約70人が参加。講師からは、田舎ならではの良さ、そこで元気に楽しく生きていくコツなどが分かりやすく話され、ユーモアを織り交ぜながらの田舎の話に、終始笑顔の絶えない学習会となりました。



▲皆川さんのユーモアある話、会場からは笑い声が絶えませんでした

**6年間の福祉活動が実る**

横山小学校で車いすを寄贈

横山小学校（浅野盛夫校長）を卒業した児童19人が、子ども用車いすを母校に寄贈しました。この車いすは、子どもたちやその保護者が「母校に車いすを贈ろう」と計画し、平成15年4月からプルタブやアルミ缶の収集を6年間続け寄贈されたものです。保護者の一人は「収集活動を通して、障害のある人への理解も広がったように思います」と話していました。この車いすは3月16日の卒業式で披露され、出席した来賓や関係者から大きな拍手が贈られると、子どもたちはうれしそうに笑顔で応えていました。



▲寄贈された車いすと、6年間収集活動に取り組んだ卒業生の皆さん